

スギのストラップづくり

やまがたクリエイティブ

シテイセンターQ1



作成日
2024年10月18日
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課
ひとこと

今回は県外や外国籍の方など、様々な方にご参加いただき、うれしく思います。スギのストラップづくりについては私も初体験でした。今回の作業に加えて、バーナーでの焼き入れやレーザーによる刻印などもできると教えていただきました。ぜひともまた他の加工にもトライしてみたいです。(担当Y)

10月12日(土)、やまがたクリエイティブシテイセンターQ1で、やまがた木育プログラム体験会「スギのストラップづくり」を行いました。今回は講師として、松田泰之さん、須田祐司さんにお越しいただきました。

体験会ではまず、須田さんの司会のもと、松田さんがスギの葉・丸太など実物を使ってスギについて、のやまがた木育の話を行いました。

講話は、生きた樹木・森林としてのスギと、木材としてのスギについて、スギはまっすぐに育ち軽い性質があり、そのため古来より木材として使われている歴史、少花粉のスギへの植え替えや、建物等の木材利用でCO2の固定、地球温暖化防止

に繋がることなどを子どもにも理解してもらえよう、丁寧にお話ししました。これにより、スギの新規植林と、木材利用の重要性について、理解を深めていただけたと思います。続けて、各々がストラップづくりを開始。手のひらに収まるサイズの様々な形のスギ木片を紙やすりで磨き上げ、油の塗布とひも通しを行いました。今回の体験でスギへの理解を深め、完成させたストラップにより、体験と知識を思い起こすことができます。



【参加した方の感想】

- ・説明が分かりやすく、クイズもあったのでまた来たいと思いました。
- ・木を使うワークショップをもっとしてほしいです。
- ・古い木を切って使っていかなければいけない。
- ・ストラップ作りが楽しかったです。削るところが無心になれました。
- ・小さい子どもさんでもできそうなので、せっかく良い機会なのでもっと多くの方に体験してもらえたらと思いました。

【スタッフの振り返り】

- ・参加いただいた大半の方には木と樹についての話の内容を理解していただいていた嬉しく思います。
- ・木工クラフトのみと思われて参加される方もいらっしゃったため、チラシ等のPR内でも、木育プログラムの趣旨を簡潔に伝えてもらえれば良いと思いました。
- ・当日はスギの話の後にストラップ作りを行いました。小さいお子さん達はすぐに飽きてしまっていたので、ヤスリかけの最中にスギの話をしてみてはと思いました。

22名の方に参加いただきました！